

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成13年7月30日 第18報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	2		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	30		
(藍) <i>Aphanocapsa elachista</i> var. <i>conferta</i> *	10		
(藍) <i>Chroococcus minutus</i> *	10		
(黄) その他の黄緑藻	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	80		
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Dictyosphaerium subsolitarium</i>	40		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	10		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	1200		
(緑) <i>Scenedesmus grahneisii</i>	220		
(緑) その他の緑藻	340		
(藍) 藍藻綱	52	2.6	21.4
(黄) 黄緑藻綱	10	0.5	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	10	0.5	0.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	3.9	1.2
(み) みどり虫藻綱	10	0.5	0.2
(緑) 緑藻綱	1870	92.0	76.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2032	総体積	1.10E+06
種類数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

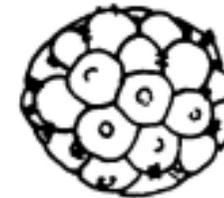
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Nauplius</i>	60

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
肉質虫類 <i>Diffugia</i> sp.	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

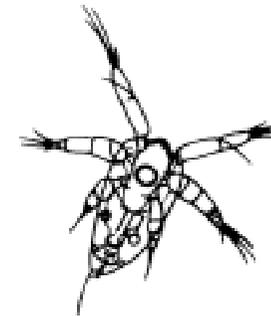
植物プランクトン第1優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノビウムは球形であり、たいてい132細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い截頭突起を出している。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント:

植物プランクトンは緑藻のケラスツルムが最も多かった。動物プランクトンは少なかったが、ノウプリウスが60個体/lで優占種となった。